

# 東日本大震災

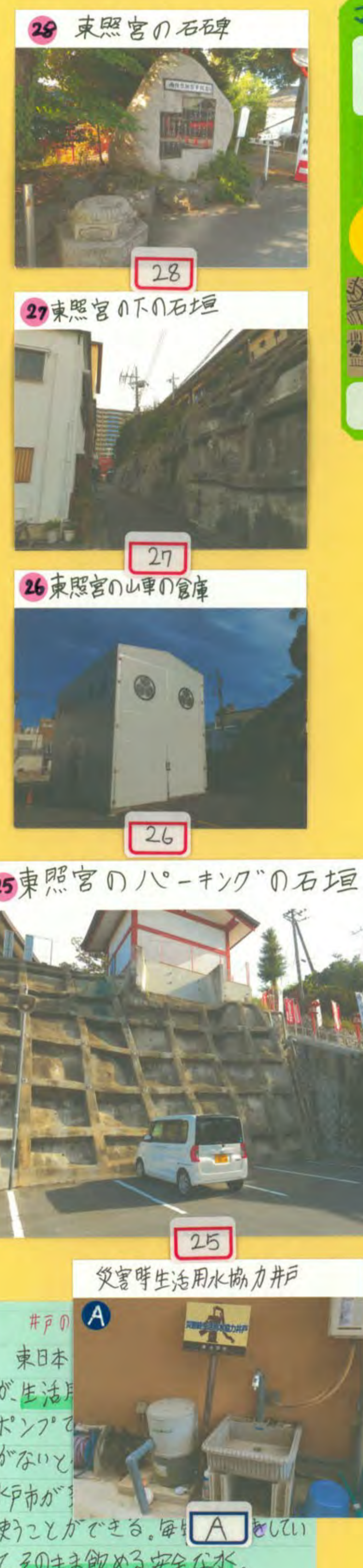
## 直後 → 今 After → Now マップ

**このマップを作ったきっかけと目的**

5年生のとき、小学校60周年行事のスタンプを見て、2011年の東日本大震災の時に、学校が大きな被害を受けたことを知りました。その時の様子をちゃんと知りたくて、父にたずねたところ、当時の学校の周りの様子を写真に収めてあると言われ、写真を見ながら説明してもらいました。

そこで、父は、当時幼稚園生だった僕も家族と一緒に、その写真を撮影に参っていたと聞きました。でも、実際は何も覚えていません。当時小学3年生だった姉に聞いても、地震が起きた時の様子は覚えていて、その後学校の周りがどうだったのかまでは、はっきり覚えていないと言いました。

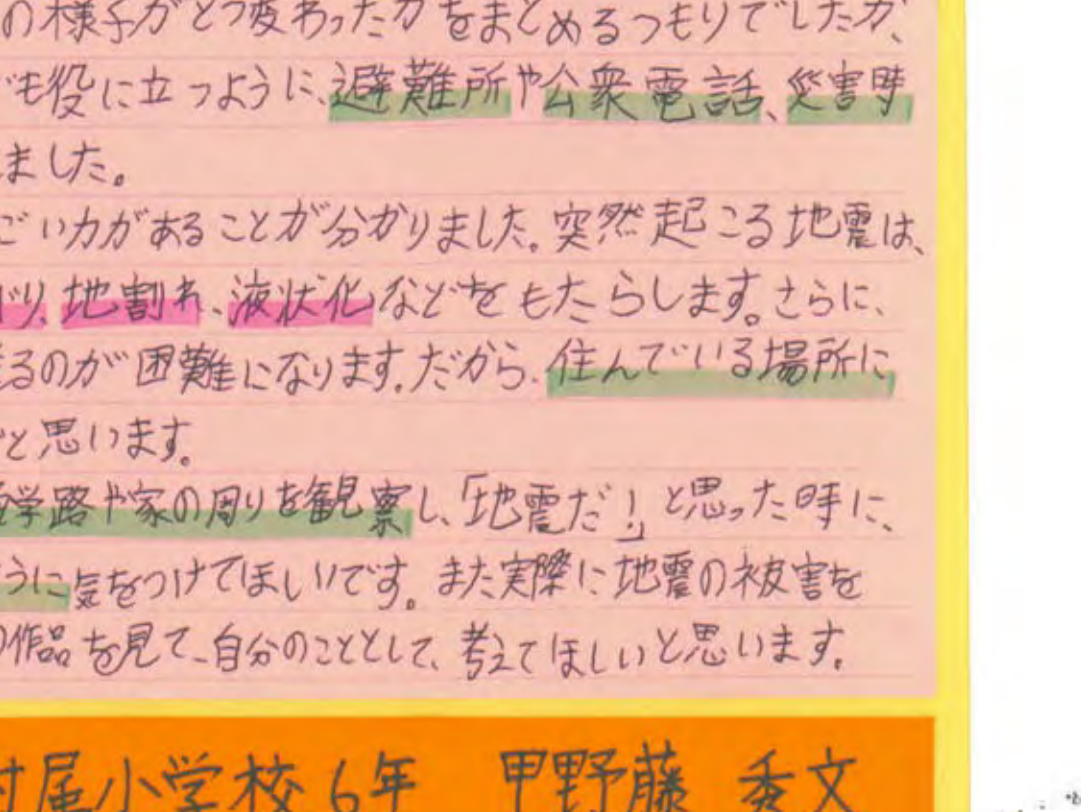
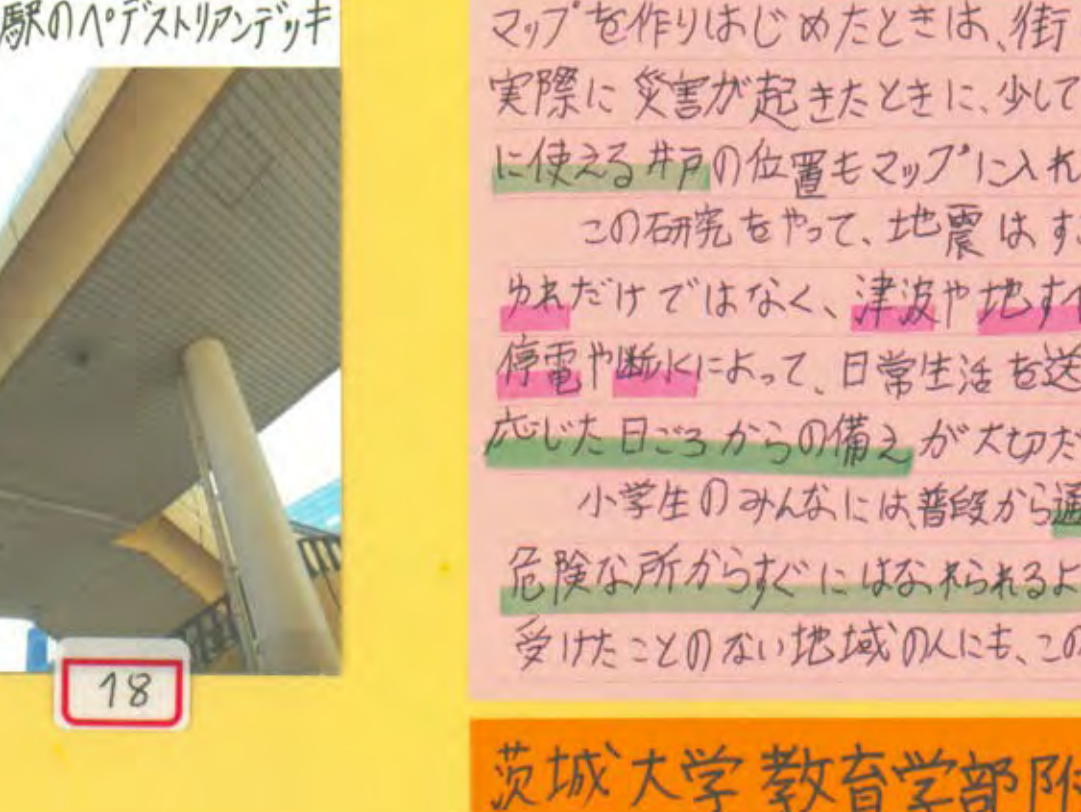
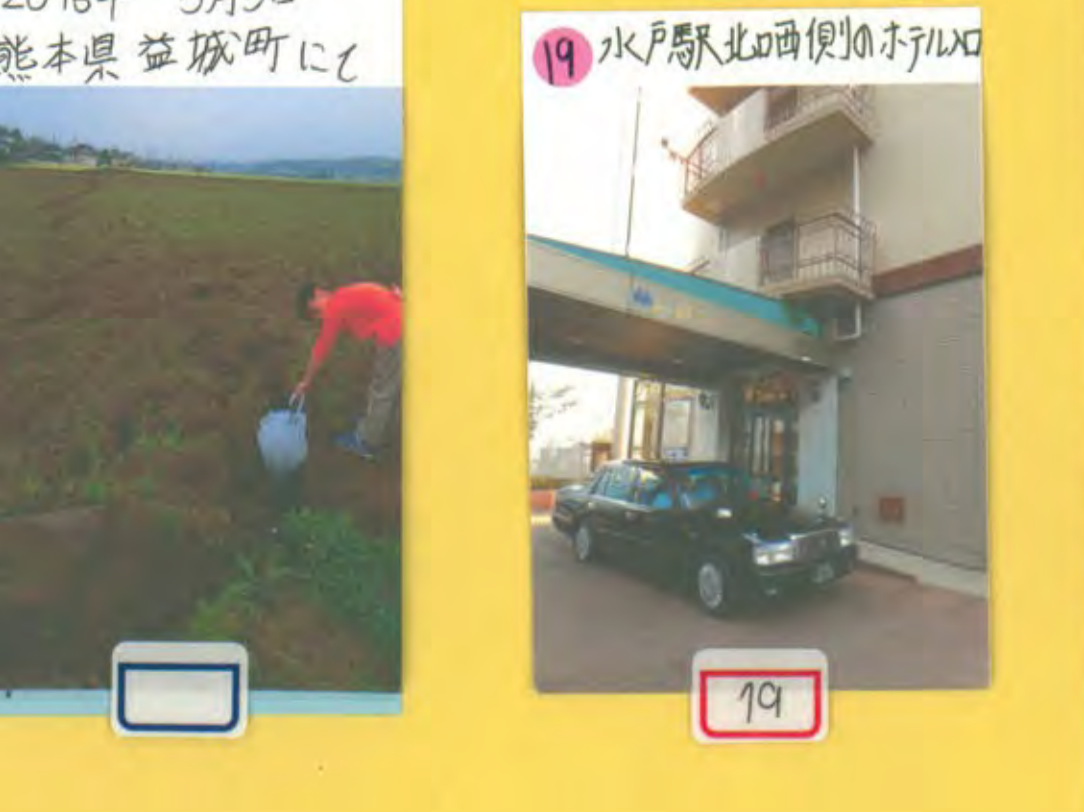
だから、僕が小学校を卒業する前に、学校のみんなに、実際に大震災が起きたとき、学校の周りや通学路でどんなことが起きたのかを、知ってもらいたいし、もし次に地震に見舞われた時に、危険な場所を予測して、そこから少しでも安全にはなれるように考え、このマップを作りました。



**東日本大震災以降に起きた震度6弱以上の地震**

地震の発生日時	震央地名	最大震度	M	震源の深さ
1 2011年9月6日 3:07	肥後沖中津波	7	M6.7	37km
2 2011年6月18日 7:59	大飯沖北沖	6	M6.1	13km
3 2011年12月28日 21:38	茨城県北部	6	M6.3	11km
4 2011年10月21日 14:07	鳥取県中部	6	M6.6	11km
5 2011年6月16日 14:21	内浦湾	6	M5.3	11km
6 2011年4月16日 9:48	熊本県 熊本北	6	M5.4	16km
7 2011年4月16日 5:55	熊本県 阿蘇北	6	M5.8	11km
8 2011年4月16日 1:45	熊本県 熊本南	6	M5.9	11km
9 2011年4月16日 1:25	熊本県 熊本西	6	M7.0	12km
10 2011年4月15日 0:03	熊本県 熊本北	6+	M6.4	7km
11 2011年4月14日 22:07	熊本県 熊本北	6	M5.8	8km
12 2011年4月14日 21:26	熊本県 熊本北	6	M6.5	11km
13 2011年11月22日 22:08	長野県北部	6	M6.7	5km
14 2011年4月15日 5:33	茨城県 常陸	6	M6.3	15km
20 2011年4月12日 14:04	福島県 中部	6	M6.4	15km
15 2011年4月11日 11:16	福島県 茨城	6	M7.0	6km
16 2011年4月9日 23:32	宮城県 沖	6+	M7.2	66km
17 2011年5月15日 22:31	静岡県 東部	6+	M6.4	14km
18 2011年3月12日 5:42	長野県北部	6	M5.3	44km
21 2011年3月12日 4:31	長野県北部	6	M5.9	7km
20 2011年3月12日 3:59	長野県北部	6+	M6.7	8km
22 2011年3月11日 15:15	茨城県 沖	6+	M7.6	45km
23 2011年3月11日 14:46	三陸沖	7	M9.0	24km

- マークの説明**
- 避難所
  - 公衆電話
  - 危険な場所
  - 石垣
  - ブロック塀
  - かわら屋根



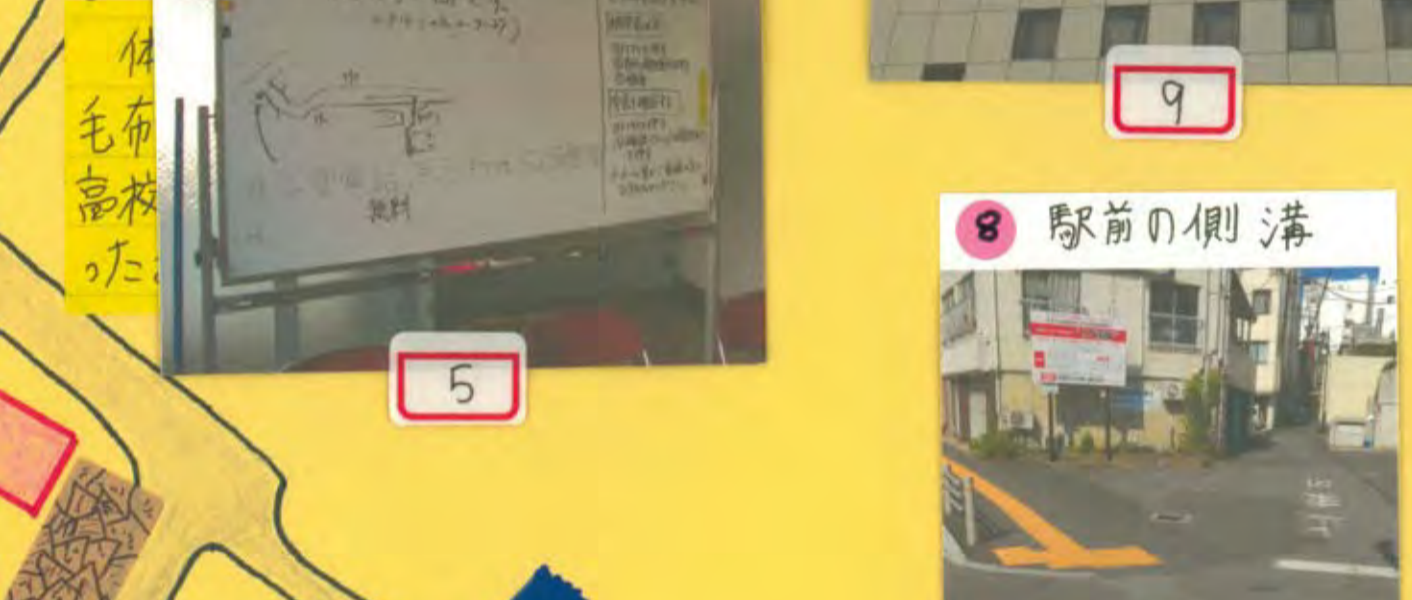
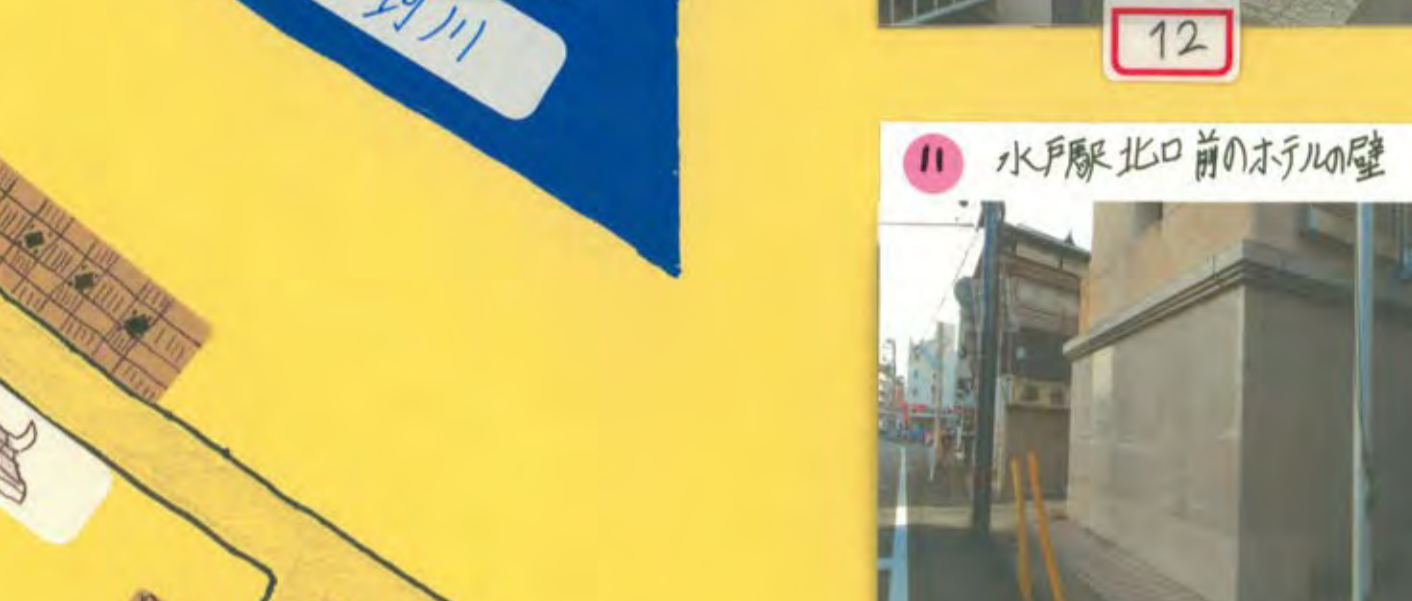
### 調査の方法と工夫したところ

東日本大震災が起きたのが金曜日で、写真を撮って来たのが土曜日の朝だったので、季節は違いますが、夏休みの土曜日の朝、同じ時間帯に同じ場所を歩いて、今の様子を撮りました。

写真を撮るのに位置から撮って垂ることで、今と震災直後の街の姿がどのように変わったかを、分かるようにした。

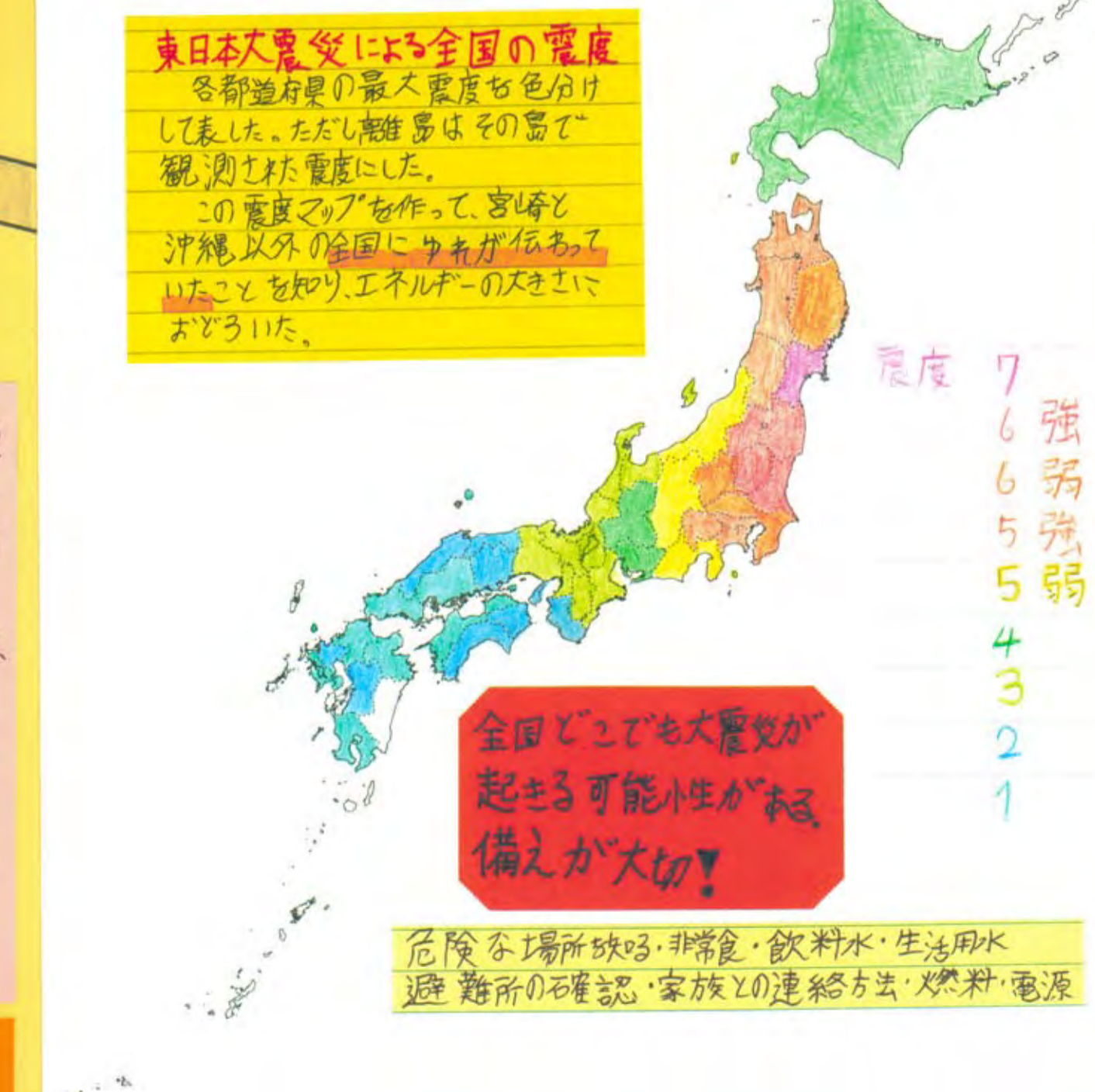
### 実際に歩いてみて感じたこと

いつも歩いている通学路上の石垣や壁が落ちてきた感じが、分かって、怖くなった。修復はされたけど、また大きな地震が来たら、同じように壊れる可能性がある。以前は大丈夫。だからと言って、安心などは限らないので、是をけがした。



**水戸市の東日本大震災の被害状況**

- 人的被害 死者1人 (安芸園遊覧バス乗客) けが人178人
- 建物被害 全壊 590棟 大規模半壊 490棟 半壊 2497棟 一部破損 27958棟
- ライフライン 住宅被害 1812棟 17棟 床下浸水10棟 3月15日 節電 3月15日 節電 3月15日 節電
- 避難所 117か所 最大避難者数 12504人 (3月20日)
- 支援物資 非常食 12戸 毛布 15枚
- ホラレギン 74枚 (小幡ホームセンター)



**みんなに伝えたいことまとめ**

今年の夏も、台風や豪雨や地震などの災害が続けて起こりました。最初はこのマップを作りはじめたときは、街の様子がどう変わったかをまとめるつもりでしたが、実際に災害が起きたときに、少しでも役に立つように、避難所や公衆電話、災害時に使える場所の位置をマップに入れました。

この研究を通して、地震はすごい力があることが分かりました。突然起こる地震は、ただでさえ、津波や地盤沈下、液状化など、色々な被害をもたらす上に、停電や断水によって、日常生活を送るのが困難になります。住んでいる場所が、いかに安全かが、備えが大切だと思います。

小学生のみんなには、普段から通学路や家の周りを観察し、「地震だ」と思った時に、危険な場所から安全な場所へ逃げることが大切です。また実際に地震の被害を受けたことのない地域にも、このマップを見て、自分のこととして、学んでほしいと思います。

茨城大学教育学部附属小学校6年 甲野藤 秀文